

地域の歴史・ 文化遺産を未来に 伝えるために

行政政策学類 教授 博士(文学)

阿部 浩一

ABE Koichi

地域の文化財
保護の相談役



研究室 URL <https://www.facebook.com/fukudai.history.abe>

[専門分野] 日本中世史(戦国期の東国における地域社会の研究)

【プロフィール】東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得後退学。博士(文学)。専門は日本中世史、戦国時代の関東・東海・東北の地域社会を研究している。東日本大震災後はふくしま歴史資料保存ネットワーク代表として、学生・専門家・自治体関係者・地域住民等とともに、県内各地の歴史・文化遺産の保全と継承に取り組んでいる。

私の専門分野は日本史の中でも戦国時代で、北条氏・今川氏・伊達氏などの戦国大名と村・町の関係のあり方を、地域社会の中で捉えなおすことを研究テーマとしています。特に、中世社会を特色づける現象の一つである「徳政」をめぐる問題、商業流通で富を蓄積し、財力を背景に村や町の自治を支えた人々の動向、地域と地域を結ぶ交通の問題などに焦点をあてながら、戦国時代の地域社会の有様を多面的に描き出すことに努めてきました。

もう一つの研究テーマは、地域における歴史資料保全活動です。阪神・淡路大震災を機に、大規模災害時に一気に消滅する危険性のある地域の歴史・文化遺産を保全し、その研究成果を地域に還元し

ようとする活動が、歴史学研究者を中心とする「史料ネット」運動として全国に広がっていきました。福島県でも東日本大震災を機に本格化しています。学生たちとの実践活動を通じて、地域がどのような課題を抱えているのか、行政や地域住民の理解と協力を得ながら、どのような方法や仕組みづくりが可能であるのかを研究し、発信しています。

これからは地域総がかりでの文化財の保護と同時に、まちづくりや観光での活用という新たな課題も本格化してきます。バランスのとれた保護と活用のために何が必要か、地域とともに考え、活動していきたいと思います。



研究概要

専門である戦国時代の伊達氏や南奥羽地域に関する研究成果を、地元からの要望に応じて一般市民向けにご紹介する講演活動を行っています。また、地域の歴史・文化遺産の保全と継承を支援する有志の連携体である「ふくしま歴史資料保存ネットワーク」の代表として、東日本大震災後の歴史資料保全活動、文化財レスキューに学生たちとともに取り組んでいます。その成果を学会やマスコミ等を通じて県内外に発信するとともに、市民参加型の



シンポジウム・懇話会などを通じて活動の裾野を広げる試みを続けています。

こんなこと
できます!

地域に伝わる歴史・文化遺産の保全と活用を支援します

想定するパートナー

市町村の文化財行政関係者、郷土史研究会等

具体的な連携、事業化のイメージ

歴史・文化遺産の所在調査・保全活動の支援

これまでの取組事例

国見町では個人蔵の歴史資料所在調査を進め、その成果を活かしつつ、学生たちの手で地元の歴史・文化遺産を広く知ってもらう「地域まるごと博物館」活動を推進しました。富岡町や大熊町ではアーカイブ事業の検討委員会で活動しています。金山町では福島県立博物館とともに民具資料の記録整理を継続しています。

関連情報

『戦国期の徳政と地域社会』（吉川弘文館、2001年）

『ふくしま再生と歴史・文化遺産』（共編著、山川出版社、2013年）

私たちの研究室自慢!

ゼミでは学生が自由に疑問や意見を出せる雰囲気
を大事にしています。古文書整理や博物館実習を
通じて地域の方々と直接ふれあい、成果を発信す
ることで、歴史を護り後世に伝える活動の意義や
喜びを実感できます。(修士2年・渡邊 歩さん)

